

わ おん 輪 音

vol.17
2022.12

編集・発行／山梨県看護協会 峡東地区支部
連絡先 峡東地区支部 支部長 金井 奈穂子 (山梨厚生病院)
電話0553-23-1311

the Kyoutou branch of
Yamanashi nursing association



“輪音第17号” 発刊によせて

公益社団法人山梨県看護協会 峡東地区支部長
金井 奈穂子

峡東地区支部の皆様には、日頃より地区支部活動にご尽力、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染の第7波は医療従事者にも影響を及ぼしています。安全な医療や看護、介護提供のための人材確保に四苦八苦しながらの事業所も感染対策に尽力をつくし、地域の人々の生命と生活を守るための活動に懸命に取り組んでおられることに敬意を表します。

このような状況下で、5月には、2022年度峡東地区支部定期総会を無事に開催することができました。昨年同様新旧役員のみと人数を限っての実施でしたが、看護功労者知事表彰及び県民の看護師さんを受賞された方々にもご参加いただき、峡東地区支部として受賞をお祝いすることができました。総会の中では今年度の活動方針を確認しました。医療と看護の連携の手引きの見直し検討は、残念ながらコロナ感染拡大の時期と重なり延期となってしまいました。しかし、8月には、山梨市の子供フェスタに参加し、健康づくりへの動機づけや看護について子供たちにも興味を持ってもらえるようグッズを配りながら、パンフレットをお渡しできました。

今年度の研修は、コロナ感染拡大の影響も考慮

し、オンライン形式による研修を企画しました。ひとつは、「お肌のリフレッシュ」として美容分野の方に講師をお願いしました。オンラインセミナーですので、自宅でも研修を受けることができました。常時マスク着用で働く会員の皆様に対し、スキンケアやメイクで気持ちを高めて生き生きと働けて、少しでも皆様のリフレッシュに貢献できたら幸いです。もうひとつは、「継続看護(多職種連携)研修」です。昨年度行われた研修会実施後のアンケートの意見をもとに、サービス提供の情報共有への関わり方や連携の在り方について学べる研修を検討しました。また、3年ぶりに甲州市で市民公開講座を開催しました。「～5年後10年後も若々しく素敵に自分でいられるため今からできること～」というテーマで行いました。身近なことから、地域の皆様に健康問題に関心を持っていただき、日頃から健康な生活を送れるような支援活動となることを期待しています。

最後に、皆様のお手元にこの「輪音 第17号」が届くころには、コロナウイルス感染症が落ち着いていることを祈るおもいです。研修に制約がありながらも、会員の皆様の持つ看護の力が発揮できるよう役員一同努力して参ります。どうぞ、支部活動へのご支援・ご協力をお願いいたします。

機関紙「輪音」第17号発刊によせて

公益社団法人 山梨県看護協会 会長 佐藤 悦子



峡東地区支部でご活躍の皆様、日頃より看護協会活動へのご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。また、3年にわたり収束の見通しがたない新型コロナウイルス感染症への対応に、日々奮闘し続けてくださっていることに、心から深く感謝申し上げます。

昨年6月に看護協会長として就任させていただき、1年が経ちました。この間、日々強く実感するのは、コロナ禍にある今だからこそ、看護協会活動は理事会を核に地区支部活動や委員会活動を通し会員の皆さまとともに、私たち会員のために創り上げていく活動にしていかなければならないということです。

不安定な世界情勢のなかで、人々は「命の尊さ」や「当たり前の生活」の大切さを今まで以上に強く願い、健康と療養を暮らしの中から支える看護職に対する期待は大きくなっており、看護職がこの期待にしっかりと応えられ、生き生きと働き続けられるための労働環境づくりや専門的資質を高められる取り組み等、看護協会は看護専門職能団体として将来をしっかりと見据えながら取り組んでいくことが重要だと考えます。

令和4年度の重点事業は、少子高齢化・多死社会・働く人口の減少・新興感染症の脅威等の中で、地域社会において期待される看護職の在り方を中長期的に据えて ①次世代を支える看護提供体制の強化・構築 ②看護職の働き方改革の推進 ③看護の質向上を図るための人材育成 ④健康危機管理体制の強化 ⑤魅

力ある看護協会活動の推進の5つを挙げ取り組んでおります。

峡東地区の会員は2022年8月14日時点で1,256名です。2021年度の最終会員数は1,254名でしたので、ほぼ横ばいという状況です。あと少し一人でも多く私たちの仲間を増やしていけたらと思います。私たち看護職の課題は自分たちの力で組織的に解決していく。その仕組みを持っているのが「プロフェッショナル」だといわれています。

昨年11月に開催されました地区支部意見交換会に出されました「看護補助者の課題」は、今年度の事業計画に反映させていただいております。会員の皆さまの声を協会活動に少しでも反映させて協会活動を今まで以上に充実させ、見える形にすることで、協会員になることのメリットを会員の皆様にも、そしてまだ会員になっていない看護職の皆様にも、伝えていけたらと思っております。

協会活動に対する地区支部の皆さまのご意見や声は、金井峡東地区支部長様、内田・水上地区理事様を通しお届けください。「みんなで創る協会」を根幹に据え、皆さまのご理解、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

入会しましょう

山梨県看護協会に



Yamanashi Nursing Association

こんな特典があります

1. 日本看護協会の看護職賠償責任保険制度に任意加入できます。(会費納入済者に限る)
○お問い合わせ：看護職賠償責任保険制度コールセンター ☎048-649-6118
2. 山梨県看護協会の研修、日本看護協会の研修へ会員料金での参加や図書室が利用できます。
3. 看護の今を紹介する「看護協会ニュース」をお届けしています。
○年3回発行の山梨県看護協会の会報誌(やまなし看護協会ニュース)
○月1回発行の日本看護協会の会報誌(日本看護協会ニュース)
4. 山梨看護学会への参加や研究成果の発表ができます。
5. 専門・認定看護師資格の取得準備ができます。
6. 研究会、勉強会に山梨県看護協会の研修室や会議室が利用できます。
7. 看護に関する情報をいち早く入手できます。



会員特典サービス

山梨県看護協会では会員向けサービスを行っています。リフレッシュに、家族サービスにご利用いただけます。

- | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|
| ①鍼灸マッサージ | ②FUJIYAMA倶楽部(施設割引) | ③スパランドホテル内藤(利用割引) |
| ④九州メディカルサービス株式会社WEBストア | ⑤アピオ甲府「アシュートセールセレス」 | |
| ⑥甲府記念日ホテル | ⑦サンリオピューロランド(施設割引) | ⑧神の湯温泉(利用割引) |
| ⑨大和ハウス工業(割引特典) | ⑩甲信マツダ(新車ご成約特典) | |
| ⑪タカラレーベングループ(割引特典) | ⑫石和・信州・駿河健康ランド(利用割引) | |

●詳細は、ホームページ「会員特典」をご覧ください。 <http://www.yna.or.jp>

山梨県看護協会峡東地区支部からお誘いいたします

地区支部管内の看護師の多様なニーズにあった研修が行われるよう企画されています。有名講師をお呼びして、研修会が開かれます。講師から直接お話を聞き、意見交換をすることで、考えたり悩んだりしていることが解決することもあります。また地域管内の看護職の集まりですから、堅苦しくなく情報交換の場にもなります。それになんといっても近くで開催されますから、看護に関わる新情報が伝わります。多くは看護協会ニュース等でもお知らせが入りますが、身近でキャッチしていきましょう。

入会についての問い合わせは山梨県看護協会まで ☎055-226-4288

就職しての
感想を
うかがいました

フレッシュマン



富士温泉病院

雨宮 愛子

私は今まで、看護助手として看護師の指示のもと業務を行ってききましたが、これからは自分自身で考え実施していくことへの、責任の重さを感じています。一つ一つの業務が患者さんへ影響を及ぼすわけですから緊張感もあり、1日の終わりにはどっと疲労感に襲われる日々です。新しく覚えることも多く、大変な毎日ではありますが、救われるのは患者さんからの感謝の言葉や、表情の変化をみられる瞬間です。また、先輩方も丁寧、親切に指導していただき、期待に応えられるよう励んでいます。患者さんにとっては新人だろうと関係ありません。看護師としての役割を果たしていけるよう、看護師としてはもちろんですが、人としても成長していきたいと思っております。



一宮温泉病院

米倉 のり子

私は看護助手として3年間仕事をしていましたが、仕事をしていくうちに知識などを身に付けてもつと患者さんと深くかかわりながら仕事をしたいと思い、上司と相談し看護師の資格を取得するため看護学校に通うことに決めました。3年間、何度も挫折そうになりましたが先輩看護師にいろいろ教わりながら、無事に資格を取得することが出来ました。

日々、学ぶことがたくさんありますが、先輩方がとても丁寧に指導して下さるので、少しずつですが看護師として自信をもって仕事ができるようになっていきます。

まだまだ未熟ですが、これからも知識や技術を身に付け患者さんや患者さんのご家族、スタッフに信頼される看護師になれるように一生懸命頑張りたいと思っております。



笛吹中央病院

三ツ木 アカリ

4月に入職して、技術やコミュニケーションに不安を抱えながらも、自立して行うケアが増えることで、患者さんとの距離が縮まり、より信頼関係が築けていると実感しています。患者さんに寄り添う看護を提供できるように病態の知識を深め、アセスメントし、自分で考え行動できる看護師になりたいです。そのために、意欲的に経験を積み、先輩から学んでいきたいです。技術面では採血が失敗なく取れるようになりたいです。今は、覚えることが多く、帰宅してもすぐに寝てしまうこともありますが、家の猫と戯れ癒されています。また趣味の映画鑑賞やお菓子作りなど休日を楽しんでいます。仕事の疲れをリフレッシュすることも心がけ、成長していきたいです。



加納岩総合病院

功刀 沙耶果

私は4月から内科と整形外科の混合病棟で働いています。最初は先輩の後ろについて、患者さんのもとへ行き一緒にケアをすることから始めました。学生時代はコロナ禍の影響でほとんど実習に行けず、病棟の看護師がどのような動きをしているか全くわかりませんでした。入職してから先輩達に一から教えて頂き、いまでは一通りのケア・医師の診療介助等1人で行うことが出来るようになりました。忙しい毎日ではありますが、患者さんが元気に帰っていく姿を見ると、とてもやりがいのある仕事だと感じます。今後は内科疾患の知識を更に深めていき、どんな患者さんにも対応できるような看護師になりたいと思っております。



峡東保健福祉事務所

神宮司 彩乃

保健師として働き始めて、6ヶ月が経ちました。新型コロナウイルス陽性患者の聞き取りでは、対面せず電話のみの情報で、療養先が決められるため、正確な情報を得ることの難しさを感じました。難病や小児慢性特定疾病の児を持つ親御さんへの支援では、療養に関する思いや困りごとを確認し、その方のニーズにも基づいた支援ができるよう、努めています。保健所保健師として、病院や訪問看護ステーション、市役所など関係機関と協働し、地域住民が住み慣れた地域で希望の生活が送れるよう支援していきたいです。また、広域的な視点で管内地域を視ることができるよう、保健師として知識を身につけていきたいと思っております。

就職3年目 後輩に向けてのEメール



加納岩総合病院

草塩 万里菜

当院へ入職してから3年目となりました。私の病棟は急性期混合病棟で入退院や検査手術も多く多忙の日もありますが、その分やりがいも大きいです。入職当初は、病棟に同期もおらず毎日不安と緊張で、正直辛い日もありました。しかし、何かに躓いたときにはプリセプターや先輩方からのアドバイスや何が問題だったのか解決策を一緒に考え、乗り越えることができました。また、私には息子がいます。当院では子育てに対しても理解があり息子の行事には必ず参加し、育児と仕事が両立でき公私ともに充実した日々を送れています。看護師の仕事は、ご家族や患者さん一人ひとりとの関わりを大切にすることでたくさんの気づきがあります。看護師として成長できるだけでなく、自分自身が人としても成長できる仕事だと感じています。一人ひとりの命の重みを忘れずに、皆さんの看護師像を深めて頑張っていってほしいです。



笛吹中央病院

金丸 亜紀

私は、患者さんに寄り添える看護師になりたいという目標を持って、日々仕事をしています。忙しい業務の中でも患者さんの「ありがとう」という言葉がとても嬉しくて、そんなふうに出てもらえるよう頑張ろうと思って働いています。一年目の頃は、初めての事、分からない事だらけで何度も心が折れそうになっていました。ですが、最初からうまくいく人はいないし、できなくて当然です。その分たくさん見て、学んで、実践して、回数をこなした分だけ自信に繋がると感じています。辛い事ももちろんあると思いますが、そんな時に同期の存在が大きいと思います。悩みを共有して声を掛け合って、一緒に頑張っていってほしいです。また休みの日には、仕事のことを忘れてリフレッシュしてみることをお勧めします。実習、国家試験を乗り越え頑張っている皆さんのことは必ず誰かが見てくれています。息抜きを忘れずに、なりたい看護師像を目標に素敵な看護師になってください。



富士温泉病院

堀内 樹里

私は看護師として働き始め3年が経ちました。看護学校を卒業し、看護師として命を預かる立場で医療現場にいる責任感と不安、緊張を日々感じています。初めの頃は業務を覚えることで精一杯であり、患者さんに寄り添うことができているのか、知識や技術を身につけることができているのか、日々不安でいっぱいでした。日々業務に追われ、先輩看護師とコミュニケーションを上手く取ることができずミスをしてしまったこともあります。しかし、命がかかわってくるからこそ、わからない事や不安なことは先輩看護師に相談し、患者さんや自分自身の安全を守っていくことがとても重要であると思いました。覚えることが多く、不安や緊張、辛い時もあると思いますが、患者さんからの感謝の言葉や、元気に退院される姿を見ることで、私は看護師としてのやりがいをととても感じています。これからも患者さんに寄り添っていただける看護が提供できるよう一緒に頑張っていきたいと思います！



石和温泉病院

松木 蒼一郎

私は、石和温泉病院に入職3年目となりました。1~2年目は看護学生時代とは違い、状況に合わせて自ら考えアセスメントをし、根拠をもって行動するという困難さを痛感しました。患者さんや先輩に迷惑をかけてしまう場面も多々ありました。しかし、わからない事をそのままにしたり、怒られることを考えてミスを報告することを怠ってしまうと、後々自分にその失敗のツケが返ってきます。人の命を預かる職業ゆえ、その中には取り返しのつかないこともあるかもしれません。そのため、わからない事はそのままにせず、報・連・相を徹底し、適宜情報を共有しておくことが大切だと学びました。「わからない事を素直に聞くことができるのは新人の特権。年を重ねればどんどんわからない事は聞きづらくなる。」という言葉が先輩からいただきました。わからない事は恥ずかしいことではありません。どんどん聞いて経験し自分の看護を深めて、成長していきたいと思います。

職場紹介

Kyoutou health and welfare office

峡東保健福祉事務所 (峡東保健所)

峡東保健福祉事務所は、県の機構改革により、平成18年4月1日に石和保健所と日下部保健所が統合し、現在は8名の保健師が、次長、長寿介護課、地域保健課、健康支援課に配置されています。世代は若くなり、旧保健所時代を知る保健師はわずかです。峡東地域は、看護研究会の発祥の地であり、病院・地域連絡会議や助産師定例研究会、保健師定例研究会等管内の看護職の繋がりが強く、住民が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、先進的に継続看護を推進してきた歴史があります。

新型コロナウイルス感染症対応も3年目を迎えました。保健所においては、コロナ禍当初から、退職した保健師・看護師の先輩方に応援に入っただき、感染者や濃厚接触者の健康観察や受診調整、相談等、看護の力を発揮していただいています。今まで経験したことが無い災害レベルの状況の中で、日々住民の声を聞き、対応を振り返り、改善し、経験値を高め、あらためて保健所の役割も見つめ直しています。

2040年を見据え、予防と健康づくりの視点を見失わず、住民が健康で幸せな暮らしを実現する社会を作っていくための活動を、峡東地域の看護職の皆さんと共に今後も継続していきたいと思っております。



Katsunuma nursing center

介護老人保健施設 勝沼ナーシングセンター

四季を通じて盆地の表情を楽しませてくれる勝沼ぶどう郷という素晴らしい環境に、介護老人保健施設勝沼ナーシングセンター（一般棟63名、認知症専門棟27名 合計90名）があります。当施設は、介護を必要とする高齢者の自立支援や家庭への復帰を主目的とした中間施設であり、ケアプランのもと医療的に管理された状態で機能訓練（PT・OT・ST）、介護サービスなどが受けられます。

新型コロナウイルスの流行によりご利用者様とご家族様の『つながり』が希薄になり、家庭への復帰を妨げる課題の一つとなっています。ご利用者様とご家族様との物理的な距離や、直接対面できないことで生じる気持ちの乖離など、『切れたり、離れたりしているものを通い合わせる』という意味で、両者をつなぐために必要な意識や知識・技術を身につけることがコロナ禍の施設に従事する私たちスタッフの役割です。病院と家庭との中間施設として、介護老人保健施設が果たすべき役割を見据え、今より質の高いサービスを提供し、『その人らしく』人生を送るための支援とは何かを考えております。



Nursing care facility fujien

介護老人保健施設 ふじ苑

介護老人保健施設ふじ苑は、職員一丸となりその人がその人らしく生活できる、安心して任せられる施設を目標に、日々奮闘しています。昨今のコロナ禍において、今まで普通に行っていた家族面会や施設での活動も制限されているなか気分転換を図り、楽しんでいただける機会を設けることが出来ればと苑外への散歩や折り紙プロジェクトへの参加など行っています。

当苑でもリモート面会、窓越し面会、動画の提供などを通じてご家族の方へ元気な様子をお伝えする事とともに、日ごろの生活の様子を見て知っていただいています。

研修会・講習会への参加も積極的にいき資格の取得や職員へのスキル向上を目指しています。今年7月には技能実習生3名が新たに仲間として加わりました。教えながら学び一緒に成長出来たらと思います。



回復期リハビリテーション病棟の認定看護師の紹介

回復期リハビリテーション看護師

●山梨リハビリテーション病院

当院の認定看護師「回復期リハビリテーション看護師」を紹介します。認定看護師と言えば、日本看護協会認定の認定看護師が一般的に知られており、専門分野も多岐に渡っていますが、「回復期リハビリテーション看護師」は一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会が認定しています。2022年度現在、全国で



119名の看護師が認定されています。認定看護師の活動目的は回復期リハビリテーション病棟において、①回復期リハビリテーションサービスの対象者及びその家族に対する質の高い看護の提供 ②回復期リハビリテーション病棟における個人、集団、組織に対するリスクマネジメント ③回復期リハビリテーションサービスにおける多職種との協働とチームアプローチの実践です。当院には現在6名の認定回復期リハビリテーション看護師が在籍しています。各病棟に配属しており活動目的を念頭に置き、日々多職種チームで患者の思い描く退院後の生活が送れるよう患者とともに目標を立て支援しています。また、看護職のリハビリ看護、技術の習得向上を目指し研修会を企画運営しています。そして、リハビリ看護の楽しさや、やりがいを持って働けるように取り組んでいます。

certified nurse

認知症看護認定看護師

私は内科病棟で認知症看護の活動を行っています。認知症ケアチームと院内ラウンドやケアカンファレンス、看護補助者と院内デイケアを行っています。認知症患者さんには、多職種が関わり、その職種ならではの気づきを活かせる環境づくりができるように心がけています。認知症の勉強会では「患者さんが何か表出する前に看護師が立ち去ってしまっているかもしれない



ので、今より数秒立ち止まって患者さんの反応を待ちましょう」と伝えています。スタッフから「あの患者さん、こんなことができた。アイスクリームが食べたと言ってました。」など、変化が起きた場面を聞く機会が増えました。また、

●笛吹中央病院
認知症看護認定看護師
安藤 由紀



ある日、病棟ホールで看護師と数名の認知症患者さんで昔話をしながら季節の飾り物を作っていると、男性患者さんに「どこの病院もこんなことしているの?」と話かけられました。うるさかったのかと身構え、「他の病院はわかりませんが、うちの病院ではやっています。声が大きすぎましたか?すみませんでした。」と謝ると、「こんなことしてくれるなら、うちの親が認知症になって入院しても安心だね。俺が先かもしれないけど。さっきまで叫んでいたおばあちゃん、笑ってるね。」と仰ってくれました。患者さんの表情や反応の変化や、療養している患者さんの一言が後押しとなり、認知症看護の活動の活力になります。

認定看護師のキャパシティは限られています。周囲の理解や多くの人と協働することで認知症患者さんへの対応は大きく広がっていくので、これからもそんな環境づくりを続けていきたいです。

ほっとひと息 コーナー

アロマ委員会の取り組み

●一宮温泉病院 アロマ委員会



2015年にこちらの機関誌に当院のアロマ委員会の取り組みを紹介いただきました。その後院内でアロマ教室を開催したり、夏祭りやいちのみや絆まつりに参加し、アロマハンドマッサージを行ったりと活動を続けています。

新たに取り組んでいることは、患者さんと一緒に「ラベンダー刈り」をすることです。毎年6月になると年々大きく成長している病院敷地内のラベンダーが一斉に咲き始めます。天気の良い日に職員が患者さんを連れ出し、和やかな雰囲気の中ラベンダー刈りを楽しみます。患者さんは「ラベンダー刈りしたのは初めて!」「いい香りだ〜」と喜んでくださいます。中には写真撮影する方もいらっしゃいます。外に出てリフレッシュしていただけるこのイベントはとても好評です。

2019年2月に開催された「第14回山梨県民間病院協会学術研究会」にて「外来患者に対するアロマオイル(芳香浴)の効果」を発表しました。当院では外来にディフューザーを置き、主にラベンダーやオレンジ、ティートゥリーを焚いています。長い待ち時間や検査への不安や疲労感などが予測される外来患者さんが、この芳香浴をどのように感じていらっしゃるのか、その効果を明らかにし今後の取り組みに

活かすためです。

約7割の方が「落ち着く」「癒される」「リラックスできた」と評価していただきました。その一方で「人によっては嫌かもしれない」「きつい匂いは嫌」との意見もあったため、調査後には芳香浴の中止ができること、希望するアロマオイルを申し出てくださいたい旨をお知らせして実施しています。患者さんから「何の香り?」「〇〇の香りが好き」などと芳香浴を通じてコミュニケーションがとれることはアロマ委員としてはうれしいことです。

ポプリ作り

前述したラベンダー刈りで収穫したラベンダーのその後ですが…乾燥させてポプリを作ります。患者さんにお配りしたり、いちのみや絆まつりで販売したりしています。ポプリにする時に併せてバラの花びらを入れるととても豪華になります!バラは職員が提供してくれたり、「洋菓子舗ウエスト 一宮工場」に咲いているバラをいただいたりしています。



ここ数年は、新型コロナウイルス感染拡大のため夏祭りやいちのみや絆まつりが中止となり、アロマ委員会の活動は、定番のディフューザーによる芳香浴と消臭スプレー作り、ラベンダー刈りのみとなりました。昨年は少しでも職員にリフレッシュしてもらいたい!という思いで、久々にアロマ教室「若返りの水 プリティーローズウォーター!!」を開催しました。これからも職員や患者さんの癒しにつながるような活動を続けていきたいと思ひます。



洋菓子舗ウエスト 一宮工場のバラ

私のおすすめスポット



やまなしフルーツ温泉 ぶくぶく

(ヤマナシフルーツオンセン ブクブク)

山梨フルーツ温泉ぶくぶくの紹介をします。リフレッシュしたい時に子供たちとよく行きます。

ぶくぶくの温泉は、まず施設に入る前に絶景スポットがあつて景色を楽しめます。そして入口を入ると季節に応じたの飾り物があり記念写真が撮れるようになっています。

ぶくぶくの温泉のお風呂は単純アルカリ性で打ち身や冷え症などに効果があるそうです。また季節に応じたフルーツ風呂があり、様々な果物が露天風呂に浮かんでいます。香りも見たい目も楽しいお風呂です。ぶくぶくの温泉はフルーツ公園の一番高台にあり、お風呂からも絶景が楽しめます。

昼は昼の素晴らしい景色、夜は新日本三大夜景を見ることが出来ます。コロナ禍でなかなか遠出も難しい日々ですがぶくぶくの温泉に入り、仕事で疲れた体を癒しリフレッシュしてはいかがでしょうか。



やまなしフルーツ温泉 ぶくぶく

〒405-0045 山梨市大工2589-13
☎ 0553-23-6026

営業時間 平日 11:00~23:00

(最終入館受付22:30)

土日祝日 10:00~23:00

(最終入館受付22:30)

定休日 年中無休



編集後記

コロナ禍中3年目となりました。まだ先が見えず、緊張感が続く中、業務にあたっている医療職・看護師の仲間が癒される様に、委員達と会報誌の作成を行いました。輪音17号の発行にご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

会報委員

廣瀬 圭子 小倉 卓也
竹内 美和 窪田 三希
齋藤菜穂子 羽田美早香
五味 明子 早川 泰子
名取かおり